



経営課題3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

港区でも高齢化が進むとともに、一人暮らしの高齢者が増加しています。家族や地域における関わりが希薄化し、高齢者や児童などへの虐待事案も継続して発生しています。

支援を必要とする人が地域で安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の関係者やボランティア、NPO、企業など、地域に関わる多様な活動主体が協働して、地域社会全体で支えていく必要があります。

健やかにいきいきと暮らせるまちづくり



シニア・サポート事業、区民健康アップ事業 他
支援が必要なお年寄りの方などが安心して暮らせるよう、地域の取り組みなどを促進する

1 地域福祉の推進

区の地域福祉を推進するため、25年度に各小学校区において策定された「地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）」が、各地域において活動が着実に推進されるよう支援します。

身近な場所で相談や見守り、一時的な援助が受けられるとともに、必要に応じて専門機関や福祉制度を活用できるようにコーディネーターを配置して、地域においてつながりづくりや支えあいの活動に参加する新たな人材を発掘・育成します。

子どもの発達・発育が気になりな保護者への心理的サポートや子どもの発達フォローを行うとともに、保護者どうしで相談や情報交換のできる場を設けるなど、保護者への支援の充実を図ります。

高齢者、障がい者、子どもなどに関する相談機能を充実させるとともに、関係機関や地域で活動する団体・グループとの連携強化を図り、支援を必要とする住民一人ひとりの多様なニーズに適切に対応します。

関係機関と連携し、児童虐待ケースへ対応し、的確な支援に向け取組むとともに、子育て支援サポーターの活動の場を広げ、地域において身近に相談でき、要支援者を区につなげやすい体制を構築し、虐待の早期発見・発生を防止します。

1) 地域福祉アクションプランの推進支援 【予算額 ー 千円】

各校下の地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）の内容が地域で根付き、活動が着実に推進されるよう支援します。

目 標 各地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）情報交換会での参加校下：11校下

8月末から順次スタートアップ会議※を開催し、11校下についてすべて実施済み。

3月に平成26年度港区地域福祉活動計画活動報告会を開催し、11校下全てが参加。

※スタートアップ会議：昨年度策定した地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）を具体的に推進していくため会議。

取組実績

2) 高齢者等要支援者の見守り支援 【予算額 15,514千円】

身近なところで様々な福祉制度の狭間にある要援護者の相談支援を実施するとともに、高齢者等の相談、見守り活動、一時的な援助、住民同士のサポート活動を支援するための地域見守りコーディネーターを配置し要援護者の情報を関係機関と共有するとともに、地域での見守り協力事業者を発掘します。

目 標 要援護者の情報数：1,800件、見守り協力事業者の登録数：100件

取組実績

- ・全地域において見守りコーディネーターが地域の見守り・相談を実施。
相談受付件数：3,689件
くらしサポーターによるマッチング件数：3,462件
- ・要援護者の情報収集手法や見守り事業者の募集手法について検討。
要援護者の情報数：2,213件、見守り協力事業者の登録数：64件
- ・港区社会福祉協議会で見守りコーディネーターの後方支援をしている相談員の相談件数：1,372件

3) 障がい者等にかかる相談支援 【予算額 3,264千円】

障がい者等からの相談に応じて情報提供や助言等を行うとともに、障がい特性や支援手法についての普及・理解が十分でない発達にかたよりがある子どもとその養育者が早期に相談が受けられるよう、臨床心理士等による専門的な支援を行うとともに、養育者どうしが情報を交換しあい、同じ経験を持つ養育者に気軽に相談できる場の提供を行います。

目 標 「相談できる場を利用したことで不安が軽減された」と答えた養育者の割合：70%

取組実績

- ・ピアカウンセリング：12回、22人（月1回）
- ・臨床心理士による専門的支援：延177人
- ・講演を7月に開催 参加者：22人
19名よりアンケート回答あり、すべての方から好評価の回答を得るとともに、うち13名よりピアカウンセリング参加希望あり。
- ・港区障がい者相談支援センターにおける相談件数：2,299件

4) 児童虐待の防止の取り組み 【予算額 191千円】

要保護児童対策地域協議会において、関係機関と連携し児童虐待ケースの的確な対応と支援に向け確実に進捗管理を行うとともに、地域の身近なところで子育てに関する悩みや不安を相談できるよう、これまで養成してきた「子育て支援サポーター」や地域の子育て支援団体、グループと連携し、虐待の発生防止や早期発見、虐待事案への迅速・適切な対応を行い、区民や関係機関に対し、児童虐待防止や子育て支援に関する講演会を実施します。

目 標 講演会のアンケートで、虐待防止や子育て支援への理解が深まった人の割合 80%

取組実績

- ・要保護児童対策地域協議会開催回数：14回
- ・子育て支援連絡会開催回数：12回
- ・虐待防止に関する講演会：1月開催28人参加
- ・子育て支援に関する講演会：2月開催29人参加

2 区民の健康増進と生活環境の改善

健康づくりについて情報提供や学習機会を提供し、普及・啓発に努めます。

生活習慣病を予防するため、一人ひとりに応じた食生活の改善や適度な運動の取り組み方法など、健康的な生活習慣についての啓発を行い、健康づくりを支援します。

区内の健康増進活動を行っている事業者や団体・グループなどと連携・協働して、区民が主体的に生活習慣の改善や健康づくりに取り組む機会や場を提供します。

疾病の早期発見につながるよう、がん検診や健康診査を受診しやすい環境整備を行うとともに、積極的な広報を行います。

ウォーキングなど気軽に実践できるスポーツの普及を促進するとともに、身近な施設における区民のスポーツ活動を支援します。

区内で行われる参加型のスポーツイベントやレクリエーション活動に関する情報を積極的に発信します。

より多くの人にスポーツの楽しさを知ってもらえるよう、プロスポーツなどの高度で魅力的なスポーツにふれられる機会を広げます。

区民ボランティアや地域団体と連携し、花と緑を育てる活動やまちの美化活動を促進します。

関係機関等と連携し、国道 43 号の沿道環境の改善に向けて、公共交通の利用促進など、環境に配慮した取り組みを進めます。

1) 区民の健康増進 【予算額 646千円】

区民の主体的な運動習慣づくりや食生活の改善など健康づくりのきっかけとなるよう、これまで養成してきた運動サポーターと協働し、モデル地域での運動・健康づくり講座（運動サポーター地域講座）の開催をはじめ、地域でも健康講座を開催し区民の自主的な健康づくり活動を促し、区民の健康アップをはかります。特に 11 月を港区健康月間と位置付け、健康づくりイベントを開催し、健康増進活動を行っている団体やグループ、関係機関、事業者等に、区民が気軽に参加できるような健康づくり支援の取り組みに対し協力をお願いします。

目 標 健康月間中に健康づくり支援の取り組み協力を得た団体、グループ、関係機関等：3 団体以上
運動サポーターと協働した運動・健康づくり講座の開催：2 地域以上

- ・運動・健康づくり講座：2 地域で、各 2 回開催
- ・11 月の健康月間に 12 団体が健康づくり支援の取り組みに協力。
- ・11 月の健康づくりイベント：健康フェスタ開催 693 人参加
- ・地域健康講座（壮年）：35 回開催、810 名参加
- ・地域健康講座（高齢）：25 回開催、560 名参加

取組実績

2) がん検診・特定健康診査の受診率の向上 【予算額 277千円】

区民のがん検診及び特定健康診査の受診率の向上を図るため、休日健診の増加や健診の同時実施など、受診の利便性を高めるとともに、区の広報紙での啓発や様々な団体を通じた働きかけや、国民健康保険加入者を対象に、広報・周知を行います。

目 標 区保健福祉センターにおけるがん検診（胃がん）の1回あたりの受診者数：50人
特定健康診査の1回あたりの受診者数：55人

取組実績

- ・区民センター・近隣センターでの特定健康診査実施直前に受診勧奨実施
実施周辺世帯に啓発ビラ配布、実施周辺のスーパー等でティッシュ配布
検診会場で受診券の即日再発行実施、窓口案内等のビブスを着用し啓発、
地下鉄駅掲示板で啓発
- ・窓口カウンターに啓発ビラを設置
- ・各種がん検診を実施している医療機関に掲出する啓発ビラを9月に掲出。
- ・団体の会合開催時に受診勧奨を実施
- ・がん検診の啓発記事を区広報紙（9月号）の1面に掲載

3) プロスポーツなどにふれられる機会の提供 【予算額 ー千円】

スポーツの楽しさを知ってもらえるよう、セレッソ大阪などの協力を得て、プロスポーツを気軽に観戦できる機会を提供するとともに広く情報を発信します。

目 標 区役所が提供した機会を利用した区民の数：200人

取組実績

- ・次の取組みについて、区の広報紙・ホームページ・ツイッターにて周知のうえ
実施。
セレッソ大阪区民優待デー（5月6日）、セレッソ大阪区民デー（9月23日）、
シュライカー大阪「フットサル体験コーナー」[区民まつり]（10月12日）
シュライカー大阪区民デー（11月30日）、大阪エヴェッサ区民優待デー（3月21・22日）

4) 種から育てる地域の花づくり支援事業 【予算額 1,488千円】

区民ボランティアが自ら育てた花を学校や保育所、区役所などの公共空間に飾る活動への支援を行います。

目 標 栽培株数 年間約16,000株、花植え活動場所 65か所
花づくり広場（1次拠点 1か所、2次拠点 6か所）

取組実績

- ・花づくり広場、ミニ花づくり広場で栽培した約19,000株を
公共施設に植付け済み。
花植え活動場所 60か所、花づくり広場 6か所。

5) 国道 43 号の環境改善に向けた取り組み 【予算額 一 千円】

関係機関や団体などと構成する「環境にやさしい交通をすすめるプロジェクト」検討会において、区民や事業者による公共交通の利用等を促す啓発内容の検討と、区の広報紙への掲載やイベント開催などの啓発活動等を行います。

目 標 アンケートにおいて当プロジェクトの必要性を感じると答えた割合：70%以上

取組実績

- ・啓発用冊子「交通便利マップ」(20000部)を作成し、区転入者等に配布、区内のバス停 駅、集客施設等に同冊子を配架
- ・南港エコフェスタ、区民まつり及び天保山まつりにおいて啓発活動を実施
- ・港区民まつり及び天保山まつりで実施したアンケートにおいて、当プロジェクトの必要性を感じると答えた割合 84%
- ・エコドライブセミナー開催
- ・フードマイレージ授業の開催(池島小学校、南市岡小学校)

6) いわゆる「ごみ屋敷」対策 【予算額 一 千円】〈新規〉

「ごみ屋敷」が発生した場合、原因を作っている本人に対して、対話・説得などのアプローチを行うとともに、必要に応じて調査を行います。

目 標 苦情・相談があった場合、聴き取りや調査を行い、必要に応じて対策会議等の条例に基づく取り組みを行います。

取組実績

苦情・相談を受け、条例に基づくいわゆる「ごみ屋敷」の要件に該当するかどうかの調査を実施(1件)[結果：非該当]

3 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進

世代や性別、国籍・文化、障がいの有無などの違いを認め合い、個性と能力を発揮できる社会をめざして、多様な学習機会を提供し、人権意識の普及・高揚を図ります。

地域や企業と連携し、さまざまな人権課題についての啓発を進めます。

身近な相談窓口として、関係機関との連携を図り、問題の解決に導く相談機能を高めます。

1) 区における人権啓発推進・人権相談事業 【予算額 2, 147千円】

区人権啓発推進協議会と連携して、地域に密着した人権啓発活動を実施するとともに、区役所において人権情報の提供並びに人権相談を実施します。

目 標 事業に参加した人に対するアンケートで「人権についての理解が深まった」と答えた区民の割合：80%

取組実績

- ・大阪大学との協働による「こどもの居場所づくり」プロジェクトの一環として、こどもの人権に関する研修会を実施（6回）
- ・みなと人権展の開催準備を進めるため、実務者会議を開催（6回）
- ・人権展（展示）
- ・人・愛・ふれあいプラザ事業開催（トーク&ライブ、落語、パフォーマンス等）（6回）
- ・人権展共済事業、みなとこころの講座、市岡日本語教室多文化交流カフェ開催
- ・人権セミナー「性の多様性」を開催（2回）
- ・人権情報共有（広報紙掲載、ホームページ掲載、行政モニター放映）計14件



経営課題 4 子育て世代が魅力を感じるまちづくり

区内では少子高齢化が進み、生産年齢人口（15歳～64歳）の減少によるまちの活力の低下が懸念されています。子育て世代の居住を促進し、バランスの取れた人口構成を確保していくことが重要です。

区内では子育てを支援する団体やグループの活動が活発です。子育て世代が魅力を感じるまちづくりのために、これらの団体と連携・協働しながら、子育てしやすい環境づくりを進めていく必要があります。

子育て世代が魅力を感じるまちづくり



新 英語大すき♪わくわく交流・ドキドキ体験事業 他
子育てしやすい環境をつくる他、子どもたちが自ら学び、考え、課題を解決し成長していく力を育む

1 子育てしやすい環境の整備

増大する保育ニーズに対応するため、引続き待機児童ゼロを維持するとともに、共働き世帯のニーズに応える多様な保育サービスの充実を図ります。

地域の子育て支援団体やグループが行う活動を支援し、子育てにかかる負担や不安を軽減します。

新たな担い手が子育て支援活動に参加できる機会を提供します。

地域の子育て支援団体やグループと連携し、気軽に子育てについて相談できる体制を整えるとともに、区内の多様な子育て関係情報をわかりやすく提供します。

子育てに様々な問題を抱える19歳以下の若年妊産婦とその乳幼児に対する効果的・効率的な育児支援施策を検討します。

1) 保育所待機児童への対応 【予算額 ー 千円】

低年齢児の保育所入所枠を確保するため、保育ママ事業を含めた「小規模保育事業」を実施します。

目 標 小規模保育事業を1カ所開設

- ・6月：小規模保育事業予定者1者を公募により決定し、10月20日に小規模保育所1カ所開設。
- ・平成27年度から既設3カ所の保育ママ事業から小規模保育事業への移行決定

取組実績

2) 子育て支援情報の提供 【予算額 413千円】

子育てされている方をサポートするために、子育て支援情報を提供するほか、乳幼児健診時に状況に応じた支援や相談情報提供を実施するとともに、児童養育等に関する相談指導を行うことにより在宅で子育てを行っている家庭を支援します。

目 標 子育て世代の内、区が提供している子育て情報が役立ったと答えた区民の割合：70%

- ・7月：区広報紙特集号を作成、配布。
- ・乳幼児健診時の子育て関連情報を36回提供(3月末時点)
- ・保育所、幼稚園専用子育て情報ラックを3階に設置

取組実績

3) 地域子育て支援の推進 【予算額 一 千円】

在宅で子育てを行っている家庭や地域の子育て活動を支援するとともに、子育て親子の交流を促進する支援拠点の設置など地域における子育ての支援を行います。

- 目 標**
- ・ファミリー・サポートセンター事業の利用件数：500 件
 - ・その他の本事業を利用した人の数：のべ 30,000 人

- 取組実績**
- ・ファミリー・サポートセンター事業の利用件数：699 件（3 月末時点）
 - ・子育て親子の交流促進拠点による事業を利用した人数（3 月末時点）
子育て活動支援事業：12,316 人
地域子育て支援拠点事業：13,680 人
はっぴいポケット：4,369 人

4) 子育て支援活動団体やグループへの支援 【予算額 一 千円】

モデル地域において、妊婦に関する情報を本人の承諾を得て、子育て支援活動団体やグループに提供し、妊婦への友愛訪問や見守りなどの活動を支援します。

- 目 標**
- 支援を受けて活動を行った団体やグループの数：1 団体

- 取組実績**
- ・妊娠中からの見守り活動を行なうため主任児童委員の氏名・連絡先を妊婦への情報提供を実施（19 件）。
 - ・6 月：主任児童委員連絡会で、妊娠期からの子育て支援について周知

5) 若年妊産婦への育児支援方法の検討 【予算額 一 千円】

若年妊産婦とその乳幼児が地域の中で、安心して子育てができるために、若年妊産婦の育児支援ニーズの実態を把握し、必要な育児支援のあり方を検討します。

- 目 標**
- 27 年度以降の母子保健福祉施策に反映する若年妊産婦への具体的な育児支援策を取り纏めます。

- 取組実績**
- ・若年妊産婦の育児ニーズの実態を取りまとめ、共同研究機関（市大）と次年度に向けた支援策の検討会を実施（5 回開催）
 - ・19 歳以下の母子手帳発行者数：12 名

2 子育て世代の居住促進

子育て世代のニーズにあった住宅について広く情報提供するとともに、関係局と連携し良好な住宅の供給や居住を促進します。

さまざまな機会をとらえて、交通の利便性や豊かな歴史・文化資源など、港区に住む魅力について、積極的に情報発信を行います。

区民のレクリエーションなどの憩いの場として、子育て世代が魅力を感じる八幡屋公園の利活用を促進します。

1) 子育て世代のニーズにあった住宅の情報提供 【予算額 ー 千円】〈新規〉

子育て世代の居住促進に向け、大阪市の居住支援策や区内の住宅情報について広く情報提供するための区のホームページを作成します。

目 標 区のホームページの新たに作成したコンテンツ上のアンケートにおいて当該ページが「役に立った」と答えた人の割合：80%

3月に区のホームページに新たにコンテンツを作成したが、コンテンツ上のアンケートへの回答がなかったため目標達成状況を計測できなかった。

取組実績

2) 港区に住む魅力の発信 【予算額 ー 千円】

交通の利便性や豊かな歴史・文化資源など、港区に住む魅力について、マスコミ等への情報提供により、積極的に発信します。

目 標 マスコミ等による情報発信：4回

マスコミへの情報提供：9回

取組実績

3) 八幡屋公園の利活用 【予算額 ー 千円】

港区の子育て支援関係機関連絡会（港区みんなと子育てしチャオ会）や指定管理者、その他関係機関等と連携強化を図り、子育て世代が集うイベント等の実施を促進します。

目 標 八幡屋公園でのイベント参加者：500人以上

八幡屋公園でのイベント参加者：595人

- ・水遊びしチャオ！（8月12日）参加者数：214人
- ・氷遊びしチャオ！（3月10日）参加者数：381人

取組実績

3 子どもの学ぶ力、生きる力の育成

学校園との連携を強化し、特色ある学校づくりの支援や就学制度の改善、中学校給食の導入など、さまざまな教育課題に取り組みます。

福祉的課題や発達上の課題を有する児童などへの支援を充実し、指導にあたる教員の負担を軽減することにより、学校教育を充実します。

学校・地域・企業・NPO等と協働して、子どもの見守りや健全育成とともに、さまざまな教育活動に取り組むことにより、こどもの生きる力を育みます。

地域で活躍するプロスポーツなどの高度で魅力的な技術に触れることにより、子ども達に夢と希望を与える機会を提供します。

1) 特色ある学校づくりと教育環境の改善に向けた取り組み 【予算額 一 千円】

学校園との連携を強化し、学校協議会を通して保護者・区民の意見を学校園の運営に反映させるほか、特色ある学校づくりの支援や就学制度の改善、学校適正配置などの教育課題に取り組みます。

目 標 学校園との連携強化に係る新規取り組みの実施件数：2件

取組実績

- ・学校支援ボランティア確保のための広報連携。
- ・「港区 子どもつながりワークショップ～港区に笑顔のわを広げよう～」の開催支援。
- ・平成27年度から小学校の学校選択制を導入するにあたり、小学校と連携して『学校案内』を作成。
- ・南市岡3丁目の校区変更に伴う調整区域の設定にあたり、小学校と連携して、関係者への説明会を開催するとともに対象者への事前の意向調査及び最終確認を実施し、指定校を決定。
- ・中学校給食の配膳状況等の現地調査・聞き取りを実施。
- ・中学校給食の新メニュー導入に向けたモニター試食会・アンケートを実施。
- ・大阪プールスケートリンクを利用したスケート教室の小中学校の授業での実施似に向けた環境整備。
- ・港区教育行政連絡会を新たに設置し、小・中各1回開催。
- ・区内17校園の学校協議会への区職員の出席：各3回
- ・区小学校長会・教頭会への出席・連絡調整：各11回
- ・区小学校連絡会の開催：1回
- ・区中学校長会の開催：3回（うち1回は教育行政連絡会と同時開催）
- ・港区幼稚園連絡会の開催：1回

2) 学校園における課題をかかえる児童への支援 【予算額 3, 150千円】

社会福祉等の専門的な知識や技術に加えて、教育分野に関する知識を有するスクールソーシャルワーカーを区内市立幼稚園及び小・中学校へ巡回・派遣し、福祉的課題をかかえた児童生徒及びその家庭に対し、関係機関等のネットワークを通じた福祉施策の的確な活用のほか、多様な支援方法を用いて、課題解決への対応を図ります。

目 標 スクールソーシャルワーカーにより解決・好転した相談ケースの数：20件

- ・派遣日数：計162日
- ・相談ケース：62件
- ・教職員等を対象としたスクールソーシャルワークに関する研修会の実施
(10月15日・22日・29日、全3回)

取組実績

3) 発達障がいサポーター事業 【予算額 4, 468千円】

区内市立小・中学校に在籍する発達障がい等のある児童生徒のうち、行動面で特に支援が必要とされるADHD等の重度な児童生徒に対し、遠足や社会見学等の校外学習や放課後の課外活動である部活動等、学校生活全般をサポートするため、地域の人材を活用した発達障がいサポーターを配置します。

目 標 発達障がいサポーターを配置した学校を対象とした本事業の有効性についてのアンケートで、「有効」と回答する学校の割合：80%以上

- ・配置時間：3,377.5時間
- ・発達障がいサポーターのスキルアップに有益と思われる講演会や講座(7月・10月・2月)の受講を学校を通じて勧奨。

取組実績

4) 中1ギャップ問題の解決に向けたパイロット事業 【予算額 4, 359千円】

〈新規〉

中1ギャップ問題の解決に向け、家庭学習の促進を図るとともに、小学校6年生の不登校児童等に対する登校支援策を実施します。

目 標 「家庭学習の手引き」の作成・活用、不登校児童等に対する登校支援策についての報告会を兼ねた教育フォーラムのアンケートにおいて、中1ギャップの説明を行った後の関心を尋ね、「関心が高まった」と回答した人の割合：60%

- ・補正予算承認後、公募型プロポーザルを実施し、業務委託契約を締結。
- ・8月：別室登校等サポート事業の運用開始。
(10月10日から小学4・5・6年生対象に拡大、12月12日から全学年に拡大)
- ・保護者参加により「家庭学習の手引き」を作成：6,000冊
- ・手引き記載内容を実践するためのツールとして、中学校進学前の春休みに使用する
みなりん学習ドリルの作成：700冊
- ・家庭学習についての講習会の開催 計5回
- ・取り組み内容やその成果の共有化を図るための教育フォーラムの開催：1回(3月15日)

取組実績

5) 絵本による読書活動推進事業 【予算額 518千円】

子どもの読書活動を促進するため、学校において絵本を読み合ったり、絵本を通じて交流する「絵本ひろば」を学校の図書館や公共施設等で協働して開催します。

目 標 地域が主体的に実施した絵本広場の回数：3回

- ・「絵本ひろば」の開催回数：52回（うち地域が主体的に実施した回数：3回）
- ・担い手・図書館・区役所等による連絡会の開催：2回
- ・面展台づくり講習会の開催：1回

取組実績

6) こどもサイエンスカフェ事業 【予算額 1千円】

こどもたちの科学への関心を高めるため、こどもたちが集い、科学の知識を楽しく学べる場を提供します。

目 標 サイエンスカフェに参加したこどものうち「よかった」「とてもよかった」と答えたこどもの割合：70%以上

- ・「こどもサイエンスカフェ」の開催回数：6回

取組実績

7) 英語大すき♪わくわく交流・ドキドキ体験事業 【予算額 6,727千円】

〈新規〉

グローバル人材の育成をめざし、小・中学生を対象に英語圏での生活を再現した通所型の「英語村」などを実施し、英語に対する興味を高めます。特に中学生に対しては、通所型の「英語村」とともに観光ガイドの学習や英語を使用して活躍している人たちとの交流などのプログラムを提供し、英語でのコミュニケーション力を高めます。

目 標 ・小学生（3・4年）の受講者のうち、「外国の人が話しかけてきたらどうしますか？」に対して「英語で受け答えする」と回答した者：70%
・中学生の受講者のうち、「あなたは将来、どのくらいの英語力を身につけたいですか？」に対して「英語で仕事ができるくらいの英語力」と回答した者：50%

- ・小学生対象参加者：32名（16名×2クラス）
- ・中学生対象参加者：13名
（中学生では受講決定者数は定員どおり15名であったが、第1回目の開催日に2名が辞退された。）

取組実績

8) プロスポーツなどにふれられる機会の提供 【予算額 1千円】（再掲）

スポーツの楽しさを知ってもらえるよう、セレッソ大阪などの協力を得て、プロスポーツを気軽に観戦できる機会を提供するとともに広く情報を発信します。

目 標 区役所が提供した機会を利用した区民の数：200人

取組実績

・次の取組みについて、区の広報紙・ホームページ・ツイッターにて周知のうえ実施。

- セレッソ大阪区民優待デー（5月6日）、セレッソ大阪区民デー（9月23日）、
- シュライカー大阪「フットサル体験コーナー」[区民まつり]（10月12日）
- シュライカー大阪区民デー（11月30日）、大阪エヴェッサ区民優待デー（3月21・22日）

9) 青少年の健全育成の推進 【予算額 1,814千円】

青少年の健全育成や非行防止を図るため、青少年指導員の協力による相談や街頭指導、夜間巡視、青少年福祉委員による社会環境浄化活動等のほか、各中学校区の「青少年育成推進会議」における研修会の開催、こども会活動など、学校・家庭・地域が協働して取り組む活動を推進します。

目 標 各校区総会におけるアンケートで、総会参加者が、「青少年育成推進活動が有意義である」と回答した者の割合：70%

取組実績

- ・港区青少年育成推進会議総会において、少年非行防止活動ネットワークへの参加決定。
- ・校下青少年育成推進委員会で、少年非行防止活動ネットワークを活用し、講演会実施（1回）。
- ・青少年指導員・青少年福祉委員委嘱業務の事務支援業務を委託し、活動交付金を交付。
- ・青少年指導員・青少年福祉委員活動交付金を交付。



子育て世代が魅力を感じるのまちづくり

子どもたちの豊かな感性をはぐくむために 「英語体験事業」「サイエンスカフェ事業」

英語圏での生活を再現した「英語村」を実施し、買い物や外食など「生きた英語」を実体験することで英語を好きになってもらう「英語大すき♪わくわく交流・ドキドキ体験事業」や、子どもたちの科学に対する意欲・関心を高め、科学者等とカフェ感覚で気軽に交流する「こどもサイエンスカフェ事業」等を行っていきます。



経営課題5 訪りたい魅力と活気あふれるまちづくり

港区は卸売・小売業の事業所や飲食店が多い、比較的商業の盛んなまちですが、その数は年々減少しています。一方で、区内の商店街では、地域と連携したにぎわいイベントなど、個性ある取組みが活発に行われています。

以前は準工業地域にもものづくり企業が多く立地していましたが、近年、マンションや住宅建設が進む中、住工混在地域が増えています。

各地域の魅力ある資源を活かしてまちのにぎわいを生み出すなど、地域経済の活性化を図る必要があります。

訪りたい魅力と活気あふれるまちづくり



築港・天保山エリアパワーアップ事業 他
築港地区をはじめ、各地域の魅力ある資源をいかして、まちのにぎわいを生み出し、経済の活性化を図る

1 地域経済の活性化

区内の事業所や商店街などに対して、経営基盤の強化を支援する情報提供を行います。
町工場などが安心して操業できる環境を確保するため、実態やニーズの把握に努め、課題解決に向けた取り組みを支援します。

事業連携等によるビジネスチャンスを広げるため、区内外の事業所どうしの交流を促進し、サービスや商品の付加価値を高めるネットワークの拡充に努めます。

1) 港区魅力発掘・創出事業 【予算額 920千円】

港区の伝統、物語性、地域性等の魅力を広く周知・アピールするとともに、これらをモチーフにして商品を開発する事業者を側面的に支援します。

目 標 港区の伝統、物語性、地域性等の魅力をモチーフにして創出が見込まれる商品等の数：2

みなトクモン発掘レクチャーの開催：5回

区民まつり、天保山まつり、地域イベントなどで「みなトクモン」のPR

商品等（「みなトクモン」）の創出数：20商品

取組実績

2) 経営支援情報の発信 【予算額 231千円】

ものづくり企業などの経営基盤の強化に役立つさまざまな支援策やサービスを紹介します。

目 標 区広報紙等を通じて紹介した経済支援策を利用した企業の数：10社

- ・7月9日、12月3日に開催した港・西・大正3区合同中小企業経済交流会で経営基盤の強化に役立つサービスを紹介
 - ・広報みなと10月号の特集記事でサービスを紹介
- 経済支援策の利用企業数：1社

取組実績

3) 中小企業間の交流促進事業 【予算額 104千円】〈新規〉

大阪商工会議所西支部管内の港・西・大正の3区には、金属加工やネジなどの製造業が多く、相互に取引関係もあります。3区役所と各区の工業会・産業会、大阪商工会議所西支部が連携し、経済交流会を開催することにより、中小ものづくり企業の交流及び取引先拡大を図ります。

目 標 経済交流会に参加した企業の数：30社

- ・港・西・大正3区合同中小企業経済交流会を開催。(7月9日)

参加企業数：39社

- ・第2回港・西・大正3区合同中小企業経済交流会を開催。(12月3日)

参加企業数：18社

取組実績

4) 人手不足ものづくり企業における人材確保支援事業 【予算額 ー 千円】

〈新規〉

地域の人手不足ものづくり企業の人材確保・ミスマッチ解消のため、人材派遣会社等が求職者を雇い入れ、ものづくりに即した研修等を行ったうえで、区内の企業で実習を行い、安定した就職に結びつけます。

目 標 本事業を通じ新規就業し正規雇用した人数：5名

取組実績

- ・ 広報みなと 8月号で OJT 受入企業募集
- ・ プロポーザルで受託事業者を決定（8月21日）
- ・ 求職者に対し OFF-JT を実施するとともに、区内ものづくり企業で OJT を実施
9月～2月（事業実施）
- ・ 区内ものづくり企業 5社で 5名が正規雇用



2 築港地区のにぎわいづくり

住民、商店会、企業、行政等の多様な主体によるまちづくりの取り組みをベースとして、継続した活動のマネジメントを行い、イベントの収益等を活動資金として確保することができる仕組みづくりを働きかけ、構築します。

民間活力によって豊富な観光資源を活性化するとともに観光客の誘致を図る広域行政の取り組みと連携して、まちづくりの視点をもってソフト・ハード両面の環境整備を進め、エリア全体の回遊性を高めるとともに、地域のホスピタリティの向上を図ることにより、にぎわいの創出をめざします。

1) 築港・天保山エリアパワーアップ事業 【予算額 1,905千円】

地域の団体やグループ、商店街等の多様な主体の参画により、築港・天保山エリアの魅力ある地域資源を活用して、「天保山まつり」をはじめ四季を通じたイベント等を開催し、エリアの魅力を区内外に発信します。

目 標 にぎわいまちづくり実行委員会、美化協議会、天保山観光協会等が連携して開催するにぎわいイベント、学習会、まち歩きツアー等の実施回数：5回以上

- ・ 築港天保山エリア魅力再発見創出講座開催（7、10、11、3月 4回）
- ・ 天保山まつりの開催（11月）
- ・ 天保山イルミネーションの実施（11月～3月）

取組実績

2) 花の海遊ロードにおける潤いとにぎわいの創出 【予算額 ー 千円】

築港・天保山エリアのメイン通りである「花の海遊ロード」において、四季折々の花飾りや清掃活動など具体的なアクションを通じて、地域団体や商店街、企業等とのつながりをコーディネートすることにより、エリアの公共空間に潤いとにぎわいを創出するとともに、地域の主体的なまちづくりへとつなげます。

目 標 花育成、植栽帯の清掃やイルミネーション飾りつけ作業等の美化活動の参加人数：のべ250人以上

- ・ 年間を通じた花の育成と飾り付け、月1回の定例清掃等の緑化美化活動実施
- ・ 天保山イルミネーションの実施（11月～3月） 活動参加人員（延べ385人）

取組実績

3) 築港・天保山エリアにぎわいイベント促進 【予算額 902千円】〈新規〉

赤レンガ倉庫前広場におけるにぎわいイベントを促進するため、電源や給水栓のインフラ施設整備を行います。

目 標 赤レンガ倉庫前広場の年間イベント来場者数：8,000人以上

- ・ 赤レンガ倉庫前広場への電源整備（11月）

取組実績

4) 築港・天保山エリアの回遊性の向上 【予算額 4,098千円】〈新規〉

地元企業、市民活動団体、行政等の関係者の参画により、エリア内の利便性や回遊性の向上を図るため、エリアガイドマップを作成し市民協働型観光案内所で配布するとともに、案内誘導サイン計画を策定します。

目 標 サイン計画の策定に参画した民間企業等の数：10以上

- ・ 築港・天保山エリア魅力創造検討会（20企業・団体参画）
- ・ 築港・天保山エリア魅力創造検討会、ガイドブック作成ワーキング（各4回開催）
- ・ 築港・天保山魅力アップフォーラム開催（・開催数：4回）
- ・ 「大阪港の小さな宝島」ガイドブック発行（35,000部）
- ・ 回遊性向上のための案内誘導計画策定

取組実績

3 まちづくりに向けた資源・資産の活用

これからのまちづくりの方向性を踏まえ、JR臨港（貨物）線跡地や市岡商業高校跡地、弁天埠頭、弁天町駅前事業用地など区内の遊休地や資産の活用について、関係局と連携して活性化策の検討を進めます。

地域にかかわりの深いプロスポーツを通じて、スポーツの楽しさや高度で魅力的な技術にふれられる機会を提供します。

1) 弁天町駅前事業用地の活用に向けた検討 【予算額 一 千円】

土地区画整理事業を記念する弁天町駅前での活性化施設の整備に向け、平成25年度検討の基本構想をもとに、関係局とともに地域の窓口として区民等の意見をふまえて基本計画を策定します。

目 標 基本計画の策定

事業化に向けた基本計画案を関係局とともに策定した。

- ・ 区民説明会の開催：2回（27年1月17日・19日）
- ・ 区政会議による意見聴取：1回（1月21日）
- ・ 大阪市戦略会議を開催し基本計画案を決定（1月28日）
- ・ 区広報紙による基本計画の周知：1回（3月号）

取組実績

2) 市岡商業高校跡地の売却に向けた条件整理 【予算額 一 千円】〈新規〉

市岡商業高校跡地について関係局と連携し、まちづくりの観点から、地域や区民等の意見もふまえ、区としての売却手法に対する考えを取りまとめます。

目 標 関係局と連携のうえ、売却に向けた募集要項を策定

募集要項を策定し、売却に向け入札を行った（11月）が、申込がなかったため、その原因を検証し、今後の売却方針を検討する。

- ・ 区政会議による意見聴取：1回（26年3月26日）
- ・ 区民説明会の開催：1回（4月9日）
- ・ 大阪市戦略会議を開催し売却手続き手法を決定（4月23日）
- ・ 区広報紙による区民説明会の報告：1回（5月号）
- ・ 区広報紙による売却手法の周知：1回（6月号）

取組実績

3) プロスポーツなどにふれられる機会の提供 【予算額 一 千円】(再掲)

スポーツの楽しさを知ってもらえるよう、セレッソ大阪などの協力を得て、プロスポーツを気軽に観戦できる機会を提供するとともに広く情報を発信します。

目 標 区役所が提供した機会を利用した区民の数：200人

・次の取組みについて、区の広報紙・ホームページ・ツイッターにて周知のうえ実施。

セレッソ大阪区民優待デー（5月6日）、セレッソ大阪区民デー（9月23日）、

シュライカー大阪「フットサル体験コーナー」[区民まつり]（10月12日）

シュライカー大阪区民デー（11月30日）、大阪エヴェッサ区民優待デー（3月21・22

取組実績